

令和元年度 【第5回】

北広島市小学校給食運営委員会
北広島市中学校給食運営委員会

議 案 書

- 日 時 令和2年2月14日(金) 午後5時30分～
- 場 所 広葉交流センター 交流室2

北広島市教育委員会
学校給食センター

次 第

1. 開 会

2. 教育部長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 報告事項

報告第1号 令和2年度予算要求について

報告第2号 (仮称)北広島市防災食育センター整備について

5. そ の 他

6. 閉 会

令和2年度予算要求について

令和2年2月4日現在

1 学校給食センター関係予算(当初予算比較)

単位：千円

令和2年度 ①	577,085
令和元年度 ②	597,822
比較 ③=①-②	▲ 20,737

【増減理由】

新たな小学校給食調理場整備(防災食育施設)の実施計画(基本設計)等の終了に伴う事業費減

2 賄材料費(児童生徒及び教職員等に係る給食提供における食材購入費)

単位：千円

	令和2年度 ①	令和元年度 ②	比較 ③=①-②
小学校給食賄材料費	175,581	161,968	13,613
中学校給食賄材料費	117,163	107,891	9,272

【増減理由】

給食費単価改定による

学年	1食単価		比較
	変更後	変更前	
小学校1・2年生	283円 (8.8%)	260円	23円
小学校3・4年生	286円 (8.7%)	263円	23円
小学校5・6年生	289円 (8.6%)	266円	23円
中学生	342円 (8.5%)	315円	27円

（仮称）北広島市防災食育センター整備（北広島市まちづくり実施計画）にかかる経過報告

【 概 要 】

1. 敷地面積 : 約23,300㎡（内 造成面積 約18,000㎡）
2. 述べ床面積 : 約 3,600㎡（1階：約2,950㎡・2階：約650㎡）
3. 規模構造 : 鉄骨造 地上2階 耐火建築物
4. 調理能力 : 約 3,000食
5. 配送先 : 市内小学校8校
6. 事業費 : 約37億円（施設整備費：約33億円・備品購入等：約4億円）
7. 供用開始 : 令和6年8月中旬（2学期から）
8. スケジュール（案）
 - 令和2年度 — 設計にかかる調査研究等
 - 令和3年度 — 実施設計、粗造成等工事
 - 令和4年度 — 建設工事着工
 - 令和5年度 — 建設工事
 - 令和6年度 — 建設工事完了・供用開始

1. 災害時対応施設及び防災機能の検討

	基本計画	実施計画（基本設計）
① 災害時の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し施設（応急給食施設） ・関係機関との連絡調整の拠点 ・支援物資（食料）の受入れ・仕分け・集積の拠点 ・一時退避場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左 ・同左 ・避難生活者（避難所）への食料配送の拠点 ・食料の備蓄機能（アルファ化米8千食の備蓄を想定）
② 配置案	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の隣地とし、国道36号及び市道大曲団地4号線の2か所に出入口の設置を検討。 ・正門を市道大曲団地4号線側に設置することを基本 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の隣地とし、出入口は国道36号側に1か所、施設から市道大曲団地4号線に接続する「防災レスキュー道路」を整備し2か所の出入口を確保。 防災レスキュー道路は災害時、国道36号の寸断や走行が困難な状況の際に防災活動、救急活動の迂回路として活用。 ・配送トラックなど大型車両が出入りすることから、国道36号を主な出入口（正門）とする。
③ 敷地の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時は物資の一時集積、仮設テントの設営 ・平常時は給食配送車両など、大型車両の運行スペースとして確保、防災イベント会場としても活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空法に基づく防災対応離着陸場（ヘリポート）の整備。 災害時は自衛隊ヘリによる支援物資（食料）の円滑な受入れ 平常時はドクターヘリや北海道防災航空室の消防防災ヘリによる重篤患者の搬送など救急活動の充実を図る。 ・災害時の支援物資（食料）の受入れ、一時集積、災害支援の自衛隊の活動・宿営場所として活用。 ・平常時は防災訓練、学校給食配送車等の配送拠点として活用。

④ 構造	<ul style="list-style-type: none"> 鉄筋コンクリート、鉄骨造からなる合築型 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時と平常時の稼働形態を踏まえ、イニシャルコストも考慮し鉄骨造重層型を想定。
⑤ 耐震性	<ul style="list-style-type: none"> 市消防本部や災害対策本部である市庁舎と同一である「I類」を採用。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左
⑥ 平面計画	<ul style="list-style-type: none"> 災害時と平常時に利用形態を転用できる計画。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左
⑦ 諸室の計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員事務室、研修会議室、会議室、倉庫、調理実習室、備蓄庫、見学ホールなど。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策室（職員事務室）、物資取扱室（防災食育研修室）、防災倉庫、食料備蓄庫、支援物資（食料）の集積所、見学ホールなど。
⑧ 応急給食機能及び学校給食機能	<p>災害時</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の避難生活者を対象とした炊き出しの実施。 （8千人×3日間＝最大2万4千食） 米2400kg、汁物材料24,000食分を常時備蓄。 <p>平常時</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日あたり3千食の学校給食を提供。 最大50食の食物アレルギー対応給食に対応した専用調理室の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左

<p>⑨ 設備計画</p>	<p>非常用電源設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家発電機を設置 ・必要最低限の電力を24時間確保 <p>おにぎり成型機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可動式で1時間あたり2千個（梱包機能無し）を成型機の機種を選定。 <p>受水槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急給食3日間の対応が可能な施設規模。 <p>排水設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、下水道が利用できない状況を想定し、一般排水は導水貯留、厨房排水は除害施設を整備し流入貯水槽に余裕を持たせる。 	<p>非常用電源設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・必要最低限の電力を72時間確保 <p>おにぎり成型機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応を考慮。固定式で1時間あたり2千個以上（梱包）を成型する機種を選定。 <p>受水槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・断水の長期化も想定、給水車からの直接給水を可能とする配置を想定。 <p>排水設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、下水道が利用できない状況を想定し、一般及び厨房排水3日間分を貯留できる貯水槽を設置。
---------------	---	---

2. 食育機能及び環境への配慮

基本計画		実施計画（基本設計）
① 2階から見学可能なエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下処理室、調理室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下処理室、調理室、和え物室、洗浄室 ・ モニター映像を活用した炊飯室等の見学を検討 ・ 1階研修室から調理場の見学を可能とする窓の配置を検討
② 体験型見学施設（展示等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験用回転釜、手洗器、食文化の知識等を育む展示コーナーやパネル展示など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「見える防災」を基本とし、備蓄食料、炊き出し用煮炊き釜、炊き出し用移動式シンク、防災用の寝袋等の展示とともに、調理体験用の回転釜、食文化・食育の知識等を育む書籍や食器の展示、パネル展示を行い食育の推進を図る。 ・ 小学生の社会見学等を想定し、ひな壇状の見学シート（席）の設置を想定。（※シートの下部は防災倉庫として活用）
③ 研修室・調理実習室等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2階研修会議室で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階 物資取扱室（防災食育研修室）にて食育に関する研修会・勉強会の実施。 ・ 調理エリアを活用した夏休み親子調理教室などの検討。
④ 安全安心な学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギー専用調理室及び専用の洗浄ライン、消毒保管器の設置。 ・ ドライシステムの導入、HACCPの概念に基づく徹底した衛生管理とリスクの分散。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同左

<p>⑤ 食物アレルギー対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童数は約20名と想定（最大50食規模）。 ・当面は卵、乳の2品目を最優先として供用を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左 ・最大3品目の対応を想定した調査・検討の継続。
<p>⑥ 厨房機器の熱源</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適材適所のトータル比較検討による熱源選定を行い、最適な熱源を検討。 ・イニシャル・ランニングのトータルコストの比較検討により最適な熱源を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左 ・災害時の自家発電装置の稼働や、炊き出しに必要な厨房機器の確認、平常時の厨房設備の稼働等も考慮。
<p>⑦ 食器等の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食材同士が混入しないよう6種類の食器を想定。 ・耐久性と安全性が高く、食育面でも優れた強化磁器を想定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・児童や調理関係者の怪我や重量的な負担、避難所への配送・使用など災害時の対応を勘案、強化磁器よりも耐久性や安全性が高く、破損率が低いPEN樹脂製食器の選定を想定。 ・より一層の衛生面の向上を図るため、現在、小学校で洗浄・保管を行っているトレイを新施設において管理。
<p>⑧ 配送計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理後、2時間以内の喫食を遵守するため4トントラック5台を想定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・安全面を考慮、国道36号を左折し（恵庭方面）配送を行う。 ・災害時は避難所（最大市内33か所）へ炊き出しや食料、支援物資（食料）の配送・回収を想定。 ・災害時の配送用車両の燃料備蓄の検討。
<p>⑨ 建設設備における環境面の配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トップライト（天窗）やハイサイドライト（高窓）を設置し自然採光を取入れ、照明負荷低減を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左

仮称：北広島市防災食育センター施設概要

北広島市 防災食育 センター

防災施設

北広島市の「食の対策本部」として災害時は炊き出しを行い避難所へ配送するとともに、食料の備蓄と提供、支援物資の受入れ・仕分け・集積・搬送を実施。敷地内に防災対応離着陸場の整備を行い災害時の支援物資の受入れ体制の充実を図る。

食育施設

学校給食法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、北広島市学校給食センター条例を制定。平常時は安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供とともに、北広島市食育推進計画に基づき食育の推進に取り組む

①拠点機能

- ア 被災者への食料配送の拠点
- イ 支援物資（食料）の受入れ・仕分け・集積の拠点
- ウ 関係機関との連絡調整の拠点
- エ 航空法に基づく防災対応離着陸場（ヘリポート）を整備。自衛隊ヘリの離着陸を可能とし災害時は支援物資の円滑な受入を行う受援の拠点。ドクターヘリなど救急活動の充実のためにも活用。

②備蓄機能

- ア 食料の備蓄（避難所生活者数の1食分にあたる食料を備蓄）
- イ 応急給食実施に必要な米や乾燥具材の備蓄（常時：3食分 米：2400kg 汁物：24,000食分）

③応急給食機能

- ア 市内の避難生活者を対象とした炊き出しを実施（8000人×3日間）

④学校給食機能

- ア 一日あたり3千食の給食を提供、市内8小学校に配送
- イ 最大50食の食物アレルギー対応給食に対応

⑤食育学習機能

- ア 防災食育ホールからの調理場見学をとおした健全な食生活についての学習
- イ 研修室を活用した防災や食育に関する学習会等

主な諸室等

1 階：防災対策室（職員事務室）
 応急給食エリア（学校給食エリア）
 物資取扱室（防災食育研修室）
 防災倉庫

2 階：備蓄庫及び集積所（防災食育ホール）
 敷地内：防災対応離着陸場、配送用車両の燃料備蓄

